



～シベリウスの世界へ～

今回の定期演奏会では、近代北欧の作曲家シベリウスの作品から3曲、交響詩「フィンランディア」「カレリア組曲」「交響曲第5番」を演奏いたします。

シベリウスはフィンランドを代表するロマン派の作曲家で「フィンランドで最も偉大な人物ランキング」では8位にランクインするほど国民に愛されている人物です。作曲したジャンルは幅広く、交響曲やヴァイオリン協奏曲、それにフィンランドの伝統に基づいた交響詩やピアノ曲がよく知られています。

最初に演奏する交響詩「フィンランディア」はそんな彼の代表作で、多くの人が知っているメロディを持っているという点ではシベリウスの作品中最も有名な曲と言えます。フィンランドがまだロシアの支配下にあった時代に作曲され、当時のフィンランド国民の民族意識を高め、国家の独立へ導いたきっかけの一つになったと言われており、フィンランド国民にとっても特別な意味を持つ作品です。

2曲目は「カレリア組曲」です。「カレリア」とは、フィンランド南東部からロシア北西部にかけての、森林と湖沼の広がる地方の名称です。フィンランドの叙事詩「カレワラ」は、この地方に伝承されていた物語や詩を編纂したものです。いわばフィンランド人の「心の故郷」とも言うべき場所です。シベリウスは「カレリア地方の13世紀から19世紀までの歴史」をもとにした劇音楽として「カレリア」を作曲しました。今回はその中の3曲を「組曲」とすることでよく知られるようになった作品を演奏いたします。

最後の交響曲第5番ですが、シベリウスが作曲した1915年当時、フィンランドはロシアから支配されており、愛国心の強いシベリウスは強く独立を望んでいました。また第一次世界大戦の直前で世の中は大きな不安に包まれてもいました。従って、この曲には独立前のロシア支配下での不安や叫び、愛国心、フィンランドの自然への賛歌、独立の喜びといった様々な想いが、劇的かつ詩情豊かに表現されている印象的な交響曲作品です。

鈴木 彰久 Akihisa Suzuki

国立音楽大学教育学科卒。指揮法を矢澤定明氏、音楽表現法を稲森訓敏氏に師事。これまでに主に首都圏にて数多くのオペラに指揮や副指揮として参加。2008年佐渡裕プロデュースの「メリーウィドウ」に音楽スタッフとして参加、2010年三枝成彰オペラ「忠臣蔵外伝」に副指揮として参加、2010年日生劇場コンサート「童話の国のアリス」、2011年「アリスのおんがく旅行」に副指揮として参加。2010年伊豆フィル15周年記念演奏会ヴェルディ「レクイエム」に副指揮として参加。2011年兵庫県芸術文化センター、新国立劇場の「こうもり」に副指揮として参加。2011年浜松交響楽団「浜松市浜北文化センター30周年記念コンサート」の指揮を務める。2013年三枝成彰氏のオペラ「神風」に副指揮として参加。その他に東京近郊のオーケストラ、ブラスバンド、合唱団などの指導もしている。伊豆フィルとは定期演奏会をはじめ2012年伊豆の国市での「第九コンサート」、昨年伊東で開催された夢コンサート等多数指揮。現在、東京都市大学等々力中学校高等学校非常勤講師。



伊豆フィルハーモニー管弦楽団 Izu Philharmonic Orchestra



平成5年に創設され伊東市を中心に活動を行っているアマチュアオーケストラです。活動は年2回の定期演奏会の他、小編成のわくわくコンサート、地域や学校での依頼演奏等、伊豆唯一のオーケストラとして地域に密着した活動を心がけ、地元出身の演奏家や他団体との共演にも積極的に取り組んでいます。昨年は伊東市と下田市にて定期演奏会を開催。団員は伊豆半島はもとより、県内外の広範囲から集まり日々練習に励んでいます。

♪ ♪ 団員募集 ♪ ♪

音楽好きの方を募集しています。一緒に演奏しませんか？ぜひ見学にいらして下さい。

練習：日曜日午後（月2～3回）

伊東市立旭小学校、宇佐美コミセン、はばたき、ひぐらし会館他

ホームページ：www.izu-phil.org

お問い合わせ：板垣 0557-32-0328 野口 090-8072-4614

伊東市観光会館ホール

〒414-0024
静岡県伊東市和田 1-16-1
JR・伊豆急行「伊東駅」より
徒歩15分

